

<東北横断自動車道釜石秋田線の概要>

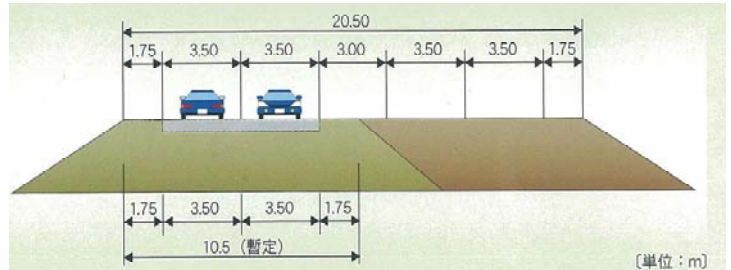
●事業概要

東北横断自動車道釜石秋田線は、釜石市から秋田市に至る総延長約212キロメートルの高速自動車国道であり、釜石港、大船渡港などの重要港湾や三陸地方拠点都市地域と、花巻空港や北上中部地方拠点都市地域、ひいては日本海側の空、海の玄関口である秋田市とを結ぶ、東北地方の広域交通網の骨格をなす路線です。

●計画概要（暫定2車線）

幅員構成

1.75～3.5～3.5～1.75=10.5m
(路肩) (車道) (車道) (路肩)



標準横断面図

●東北横断自動車道釜石秋田線の整備効果

○産業（物流）の効率化が図られます

金ヶ崎町内の自動車工場から出荷する自動車の釜石港までの片道輸送時間
(現状) 2時間20分 → (整備後) 1時間10分
<輸送時間が半分に>

○地域医療の連携強化が図られます

遠野地域から花巻地域への救急搬送時間
(現状) 48分 → (整備後) 34分
<約15分の短縮>

○沿線地域の観光の振興が期待されます

沿線地域の観光入れ込み客数
(現状) 160万人 → (整備後) 210万人
<約1.3倍に>



産業（物流）の効率化



地域医療の連携強化

○東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～東和）の状況

東北横断自動車道釜石秋田線の一部である遠野市綾織町から花巻市東和町安俵までの延長33kmについては、国と地方が費用を負担して整備を行う「新直轄方式」により事業を進めています。このうち遠野市宮守町から花巻市東和町まで（宮守～東和）については平成17年度から工事に着手しています。